

記者会見要旨
(2025年7月23日)

I 第59回定期総会について

1. 記者会見を始めるに当たって、先ほど終了した定期総会と事業計画の概要をご案内いたします。
2. 定期総会冒頭の来賓挨拶では、内閣総理大臣の代理として橋内閣官房副長官にご挨拶を代読いただき、その後、加藤金融担当大臣、山道日本取引所グループ取締役兼代表執行役グループ CEO にご挨拶を賜りました。
3. 金融庁から、来賓挨拶をいただいた加藤金融担当大臣をはじめ、伊藤長官、井上企画市場局長、新発田企画市場局審議官、小長谷企業開示課長、反町開示業務室長にご臨席を賜りました。
4. その後の審議については、審議事項8件を上程し、全て承認可決されました。

II 第60事業年度事業計画について

5. 続いて、先ほどの定期総会で承認された第60事業年度事業計画の概要をご説明いたします。
6. 事業計画は、当協会のタグライン「信頼の力を未来へ / Building trust, empowering our future」に込めた思いや業界を取り巻く環境等を踏まえて、4つの柱と体制整備を「経営方針」としており、この「経営方針」に紐づく特に重点的に取り組む活動について、14項目を「重点施策」として位置付けています。
7. 14項目すべて重要な施策ではありますが、本日はそのうち2項目をご説明いたします。
8. 「4. サステナビリティ情報を含む企業情報開示及び保証におけるリーダーシップ発揮」では、サステナビリティ情報の信頼性の確保への対応、高品質かつ信頼ある企業情報開示に関する検討と対外的な意見発信を行って参ります。
9. また、「7. 監査業務の魅力向上及び公認会計士ブランドの浸透」では、監査業務の魅力及び社会的重要性の更なる訴求や、公認会計士ブランドの浸透のための諸施策に取り組んで参ります。

III 前会長挨拶

10. 皆様には3年間の任期中、様々な形でご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。
11. 本日開催された定期総会の終了をもって、3年間の会長としての任期を満了しました。
12. 就任当初から、タグライン「信頼の力を未来へ」に込めた、「公認会計士が社会の期待に応え、社会に信頼を創ることで、安心して活力に満ちた豊かな未来の創造に貢献する」という思いを実現すべく、会務運営に取り組んで参りました。
13. 任期中の3年間を振り返ると、大きなテーマとして2023年4月に施行された改正公認会計士法を受けて法定となった上場会社等監査人登録制度の整備と運用、監査事務所の体制整備の支援を進めたことが挙げられます。
14. 関係者の尽力もあって、自分の任期中に全てのみなし登録上場会社等監査人について審査を終了して、新制度へ移行することができました。
15. 資本市場を取り巻く制度も大きな動きがありました。サステナビリティ情報の開示・保証については、7月17日に金融審議会のサステナビリティ情報の開示と保証のあり方

に関するワーキング・グループから中間論点整理が公表されましたが、制度化に向けて検討すべき課題ははまだ残されています。

16. 協会としては、中間論点整理の公表と同じ日に発出した会長声明において、残された論点についても早急に議論し方向性を決めるべきであること、サステナビリティ情報の充実とその信頼性の確保に向けて、引き続き貢献していくことを表明しています。
17. その他にも、四半期報告制度の見直し、有価証券報告書の総会前開示の議論など、さまざまな社会的課題の解決に貢献すべく、全力で取り組んでまいりました。
18. これらの取組が前進したのは、協会の役職員や会員・準会員はもとより、ここにいるメディアの方々も含めた資本市場をめぐる様々なステークホルダーの皆さまのご理解とご協力のお陰です。
19. 引き続き、新体制となった日本公認会計士協会へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。これまで本当にありがとうございました。

IV 新会長挨拶

20. 本日開催されました定期総会の終了をもって、日本公認会計士協会の会長に就任いたしました南成人です。
21. 私は、前執行部では副会長として、中小監査事務所が上場会社の監査を担う事務所として、しっかりとした基盤を確保することに尽力して参りました。
22. 近年、企業情報開示について大きな動きがあり、本日の定期総会における加藤金融担当大臣からのご挨拶にもあったとおり、有価証券報告書の総会前開示とサステナビリティ情報の開示・保証の制度化に対して、日本公認会計士協会としてしっかりと取り組んで参ります。
23. また、会長就任が決まった4月の記者会見でもお話したとおり、私は、若い世代が夢と誇りを持って活躍できる魅力ある業界にしていきたいと考え、様々な施策を実行していきたいと考えています。
24. ビジョン・経営理念として、「社会の信頼を作り、次世代が輝く社会へ」を掲げ、様々な施策を実行していきたいと思えます。
25. また、公認会計士が社会に貢献し、社会から信頼されるための一丁目一番地で中核となる業務は監査です。
26. まず監査業務で社会からの信頼をしっかりと得て、若い公認会計士が誇りをもって監査業務に従事できるようにしていきたいと考えています。
27. 私の好きな言葉は「和」です。「人の「和」なくして成長なし」をいつも心掛けている。
28. 我々の協会執行部が3年間しっかりとした施策を実行する上で、様々な方のご意見をお伺いしつつ、異なる意見もあると思えますが、あるべき方向性にしっかりと導いていけるように会務を運営していきたいと思えます。
29. その中で、本日お集まりいただいた多くのステークホルダーの皆様、記者会見に参加されている記者の皆様のご協力が必要となります。
30. 様々な形でコミュニケーションを取りつつ、社会への発信を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

以 上